

2024年10月08日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【石破新総理の発言】

自民党総裁選挙を経て、石破氏が総理大臣に就任した。

自民党総裁選挙前に、石破氏が発言していた内容と、石破氏が総理大臣に就任してからの発言に、かなりの違いがあり、それを多方面から指摘された。

それで、石破新総理が発言した内容を修正変更するなど、右往左往しているように映ります。

+++++

通常は、日本の政治が、外国為替市場で大きなテーマ(材料)になることは少ないのですが、今回の石破新総理就任に際しては、重要なテーマ(材料)になっている、と感じます。

自民党総裁選挙の際の石破氏は、日銀の金融政策に関して、その独立性を重視しているスタンスを示していた、と考えます。

つまり、総理大臣に就任前の石破氏は、日銀の追加利上げを容認するスタンスだった、と考えます。

ところが、石破氏が総理大臣に就任してから、日銀の追加利上げをけん制する発言があり、その発言をきっかけに、ドル/円は大きく「ドル高円安」に動きました。

石破氏が、自民党総裁選挙で勝った際に、ドル/円が大きく「ドル安円高」に動き、日本株が大きく下落しました。

マスコミは、それを「石破ショック」と揶揄しています。

そういったことを懸念して、日銀の追加利上げをけん制したのだろう、と推測します。

+++++

しかし、石破新総理のこの発言は、日銀の独立性を揺るがすとして、多くの市場関係者から批判が出ています。

そして、石破新総理は、この発言に関して釈明を余儀なくされています。

つまり、この点（金融政策）に関しても、石破新総理が、右往左往しているように映るのです。

新総理に就任して間もないので、不慣れなために、失敗しているようにも映ります。

今後は、新総理も気を付けて発言するようになるのでしょうかから、それ程気に掛ける必要はないのかも知れませんが、衆院選挙までは、留意しておくべき、と考えています。

++++
++++

(2024年10月08日東京時間14:05記述)